

平成28年度 公益部門事業報告

(1) 概況

本年度は、8月末に台風10号が本県を襲来し岩泉町、宮古市など甚大な被害を受け、一時国道106号線は寸断されるなど物流や経済に大きな影響を及ぼした。

特にも観光面においては、岩泉町龍泉洞は3月中頃まで閉洞を余儀なくされ、浄土ヶ浜は2週間ほど流木撤去作業に追われるなどし、震災からの観光復興に大きく水を差す形となった。

そういう中で当協会の事業とすれば、平成24年度より実施している「学ぶ防災」を継続し、約2万人の利用客の対応にあたるなどして教育旅行の誘致や来訪するお客様の防災意識の向上にも努めた。

イベントでは、春の浄土ヶ浜祭、9月に秋刀魚づくし、12月には津軽石川で宮古鮭まつりを開催し多くの観光客で賑わった。2月には恒例の宮古毛ガニ祭を実施するなどして当地域への誘客に努め そのほか、夏祭りへの協力や特別枠として宮古市からの支援をいただき県内外でのキャラバン・キャンペーン、マスコミ招待、室蘭視察研修、教育旅行誘致のため首都圏の学校の先生を招待しての現地研修や岩手県立大との連携、冬期には毛ガニを使った宿泊企画を実施するなど各種事業にも積極的に取り組み情報発信や誘客に努めた。

ほかに新里の源兵衛平高原及び黒森神社の清掃、草刈り活動、そして、受入態勢の向上を図るべく宮古もてなし隊を浄土ヶ浜に配置し、観光客の接遇に努めたほか、もてなしプラン事業ではカレンダーの作成やもてなし検定も行い事業を終了した。